

里づくりテーマ：秋田ゆざわ・里山ディスティネーション  
(そこにある魅力を視覚化する里づくり)

- 農山村地域の旅のスタート&ゴール地点にもなる受入拠点・地域拠点として、  
地域課題の空き家を魅力ある里山地域のコネク機能として稼働
- 魅力ある里山を体感できるように地域の特徴やコンテンツを繋ぎ合わせてツアーや  
プログラムを企画実践提供→継続できる体制構築と人材の育成

【今ある地域資源】

- 温泉 (秋ノ宮温泉郷、小安峡温泉、泥湯温泉)
- 景観 (小安峡大墳湯、川原の湯っこ、神室山)
- 祭り (七夕絵どうろ祭り、小町まつり、犬っこ祭り)
- 食 (さくらんぼ、いちご、りんご、せり、大根、日本酒、  
山菜、山ぶどう、なめこ、稲庭うどん、マタギ料理 etc)

現在の地域状況

- ①地域住民主体の各グループや地域協議会等が、人口減少や高齢化等、地域の担い手を取巻く状況から、農山村地域の新たなビジネスツールを創出するため、農山村滞在型コンテンツの開発やグリーンツーリズム手法による地域の魅力づくりを実践している。
- ②農山村地域への来訪増加のきっかけとなる、農山村滞在型旅行の受入れの拡大を図るため小安峡温泉、秋ノ宮温泉郷、泥湯温泉をはじめとする多様な宿泊手段と連携している。
- ③古民家を再生し、魅力ある里づくり現場における受入拠点として立ち上げるべく自立的運営と機能の充実に着手している。
- ④グリーンツーリズムインストラクターの養成や農山村滞在体験メニューのホームページへの掲載など人材育成と情報発信に取り組んでいる。
- ⑤地域資源を活用し、周遊ツアー等の体験コンテンツとして農業体験などの体験プログラムの企画開発及び実施提供に取り組んでいる。

【里づくり計画】計画策定・拠点整備・活動支援

<計画策定>

～「秋田ゆざわ・里山ディスティネーション実践計画」

- ◇「ありそうでなかった・繋げられてこなかった魅力的な地域資源活用モデル実践計画づくり。
- ◇コメ、サクランボ、イチゴ、りんご、各種野菜等の地域生産者と観光関連事業者、地域づくり団体等、現場実践者と協働しながら魅力ある里づくり計画を立案する。

<拠点整備>

～「地域課題である空き家を、里山の魅力につくり変える大実験」

- ◇地域の受入窓口となる交流拠点の整備(古民家の改修)
- ◇将来厄介者になるであろう空き家を、魅力ある地域の受入拠点として活用し、未来への心配が未来への希望へと変わる実践ケース。

<活動支援>

～「里山ディスティネーションプログラムの実践」

- ◇魅力ある里山モニターツアー(地域の魅力×里山自転車散歩)
- ◇魅力ある里山体験交流プログラム(四季の生活×里山遊び体験)
- ◇魅力ある里山受入拠点プロジェクト(食材を通じた体験メニューの開発×農林産物のパッケージ化及び商品化)

魅力ある里づくりの構想(目標)

- ◆体験交流プログラム参加者数  
H30年 107人 → 令和4年 300人
- ◆体験交流プログラム体験料収入  
H30年 410千円 → 令和4年 1500千円
- ◆本事業参加地域特産物販売目標額(農林業者直売額)  
令和4年 1000千円
- ◆本事業参加モニターツアー等販売目標額(参加料土産購入額)  
令和4年 1000千円
- ◆交流人口の増加等による目標  
令和4年 5000人



交流拠点の整備(古民家改修)



夏野菜収穫体験プログラム



秋田杉の森スノーシュー体験



流しそうめん体験(里山遊び)



GTインストラクターと協働事業